

校長及び研究推進委員長からの挨拶

ご挨拶

このたび、開校9年目の研究公表会を開催する運びとなりました。
本校では開校以来、「ひとりだち」を学校の教育目標として、15歳のひとだちに向けて、常に児童生徒に軸足をのいた実践を重ねてきました。

本年度、その目標に向けて

- ・「挑戦」…志を高くもって失敗を恐れず挑戦し、最後までやり抜く力
- ・「創造」…互いのよさや違いを認め合いながら新たな価値を創り出す力
- ・「貢献」…自分も他人も幸せになることを考え、行動できる力

を育成をめざす資質・能力とし、「ワクワク登校し、失敗も許される中で生き生き活動し、教職員も子どもも未来に向けて挑戦し合える学園」をめざす学園像として新たな一歩を踏み出したところです。

本年度は、開校から9年間の白川郷学園の教育実践の成果と課題を明らかにし、子ども達が白川村の未来の創り手となるよう、新たな一歩を踏み出す1年であると自負しています。当日は是非、ご来園いただき、忌憚のないご意見、ご指導を賜りますよう、よろしくお願いします。

校長 川瀬 秀樹



本校の研究主題について

研究推進委員長 後藤 翔大

白川村第2次総合戦略によると、2045年、白川村の人口は1000人を割り込むことが予想されています。「白川村らしさ」を未来に繋ぐためには、新しい価値観に対応することやクリエイティブな発想をもった創り手を育てることは喫緊の課題であり、白川村唯一の学園の使命でもあります。

そこで私たちは、学園の教育目標や育てたい資質・能力の考え方をもとに、研究主題を「**新たな価値を創造する子の育成**」と設定しました。

これまで、「子どもたちが創造する新たな価値とは何か」、「新たな価値を創造している子の姿とはどんな姿か」と教師自身が問い続けながら実践を積み重ねることで、私たちは、新たな価値を【次の学びにつながる主体性、見方・考え方、知識・技能・概念等】であると決めだしました。義務教育学校の9年間の系統性の縦つながりと教科と教科、教科と村民学の横のつながりの中で、子どもたちが問題意識をもって自己選択・自己決定を繰り返し、自分の成長や高まりを実感することができる学びを展開し、研究主題を具現する子を育てていきたいと考えています。ご指導、よろしくお願いします。



参加申込から当日の参加まで

- ・以下のURL、または右記の二次元コードよりお申し込みください。
【URL】<https://forms.gle/dG7FLbzz8rhtCAHX9>
- ・FAXで参加を申し込まれる方は、別紙「参加申込書」をご使用ください。
- ・申込期限：令和7年10月24日（金）



問い合わせ先・交通案内

白川村立白川郷学園

〒501-5629 大野郡白川村鳩谷614番地1

電話 05769-6-1366 FAX 05769-6-1903

Email shirakawago-gakuen@shirakawa-go.org

担当：副校長 木下 広雄

教頭 志洞 功・今井 康之



飛騨教育事務所指定研修校 義務教育学校開校9年目

令和7年度 白川村立白川郷学園 公表会 第2次案内

■研究主題

新たな価値を創造する子の育成



■期日 令和7年11月6日（木） 12:50～16:30

■会場 白川村立白川郷学園

（対面開催）＊Zoom 配信は行いません。

■公表会の趣旨

開校9年目の白川郷学園。飛騨教育事務所の研修校として指定され、子どもたちに将来を生き抜く真の力をつけるための小中一貫教育の在り方について、職員一丸となって研究実践を積んできました。教科指導、村民学について、その成果の一端を公開します。



当日の日程及び授業の見どころについて

令和7年 11月6日(木) 白川村立白川郷学園

12:30	12:50	13:00	13:10	13:30	13:45	14:35	14:50	15:40	16:00	16:30
受付	ウェルカム プレゼン	移動	結クラス トーク	移動	公開Ⅰ	移動	公開Ⅱ	移動	全体会 (後期ホール)	

◆8年生によるウェルカムプレゼン

12:50～13:00 (@後期校舎ホール)
8年生が、白川郷学園の特色ある活動や取組を、プレゼンテーション形式で紹介します。ぜひ、ご参観ください。

◆結クラストーク「学校のルールについて考える」

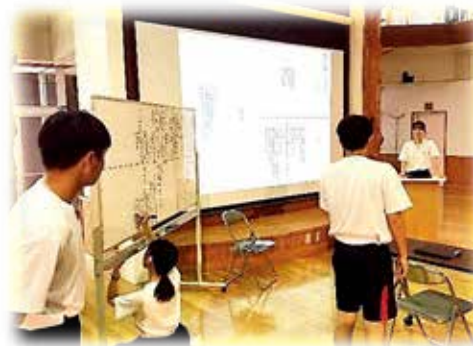
13:10～13:30 (@前期校舎各教室)
1～9年生で6つに編成された「結クラス」という縦割りのグループで、年に4回1週間の学校生活を送っています。今回は「ルール」について真剣に議論し、ルールメイキングを行います。

■公開Ⅰ (13:45～14:35 *前期課程は～14:30)

学年	教科	単元・題材、教材	授業者	授業の見どころ
ふきのとう	生活単元 学習	みんなでなろう！ かいもの名人！	渡邊 遥	児童一人ひとりが設定した課題に対して、それぞれの支援の在り方を工夫し、「ひとりだち(自立)」に近づく集中力や粘り強さの大切さを学びます。
1年生	村民学 (ひとりだち学習)	これってどうして つくられたの？	清水 陽加留	9年間のアントレプレナーシップ教育の入口として、身のまわりの物にある「困り感」を見つけ、その気付きを仲間と伝えます。
4年生	国語科	中心となる語や文を見 つけて要約し、調べたこ とを書こう	石垣 尚美	自分の選んだ工芸品について、事実と意見がつながるように工夫をしたリーフレット作りを通して、自分の考えを確かに伝える力を身に付けます。
5年生	算数科	割合	足立 幸生	全国学力・学習状況調査で課題となった割合の理解について、「1」とみる数を子どもが捉え直すことで、概念理解を深めます。
7・8・9 年生	村民学 (ひとりだち学習)	ビジネスの力で 社会の課題を解決！ 学園ビジネスコンテスト	後藤 翔大 澤中 維吹 清水 竜馬 太江 要輔	9年間のアントレプレナーシップ教育の出口としての「学園ビジコン」に向けて、アンケート調査の結果分析や仲間との対話を通して、ビジネスアイデアをブラッシュアップし、自分たちの事業プランの精度を高めます。

◆全体会 (@後期校舎ホール)

16:00～16:30
①校長挨拶
②研究概要の説明
(後藤研究推進委員長)
③ご指導
(飛騨教育事務所課長補佐様)
④閉会挨拶
(木下副校長)



■公開Ⅱ (14:50～15:40 *前期課程は～15:35)

学年	教科	単元・題材、教材	授業者	授業の見どころ
2年生	国語科	みんなで話をつなげよう	清水 栞	話し合い活動を通して、話をつなげることのよさを実感することで、村民学(ふるさと学習)でコーディネーターのお話をつながながら聞いたり、話したりすることに生かすことを目指します。
3年生	算数科	小数	大坪 輝	課題化後に自分で学び方を決めて取り組む自由進歩型の学習を通して、子どもが自分の学びを自分で選び、小数の理解を深めていきます。
4年生	音楽科	日本の音楽でつながろう	大洞 穂乃佳	「自分の作った旋律」を、白川村の伝統文化である民謡の雰囲気にならぶられるように、楽器を選びながら創作します。
5年生	村民学 (ひとりだち学習)	未来につなぐ 学園定食プロジェクト	水尻 成美	白川村南部地区にある「しらみずの湯」の顧客数を増やしたいという願いの実現に向けて、自分たちでターゲットを決め、様々な観点から考えた「学園定食」を立案します。
6年生	村民学 (ひとりだち学習)	未来につなぐ 白川村の魅力	足立 幸生	白川村の魅力を未来につなぐために、どんな魅力を発信していくのか試行錯誤しながら、6年間の村民学(ふるさと学習)での学びを振り返り、自分にしかできない観光ガイドを探究していきます。
7年生	理科	白川村の大地	澤中 維吹	白川村の地層を観察することを通して、身近な大地の歴史について、仲間と協働しながら時間的・空間的な見方を働かせて考えをもちます。
8年生	保健体育科	器械運動 跳び箱	清水 竜馬	自分の課題に沿った練習を自己選択し、同じ練習を選択した仲間同士の関わりを意図的に生み出すことで、「できた」を実感し、技の美しさを追求します。
9年生	英語科	Unit5 What makes a good leader?	太江 要輔	単元の導入において、コミュニケーション活動を繰り返す中で、「こんな表現を目指したい、こんな力が必要だ」という願いから、学習への見通しをもちます。

